

# 昭和4年調査の概要

## どこを（調査場所）



赤線は平成23(2011)年3月8日に国指定された範囲



昭和4年に住居址を発見した赤星直忠氏  
(出典：『赤星直忠先生著作目録・年譜』)

いつ（調査期間）

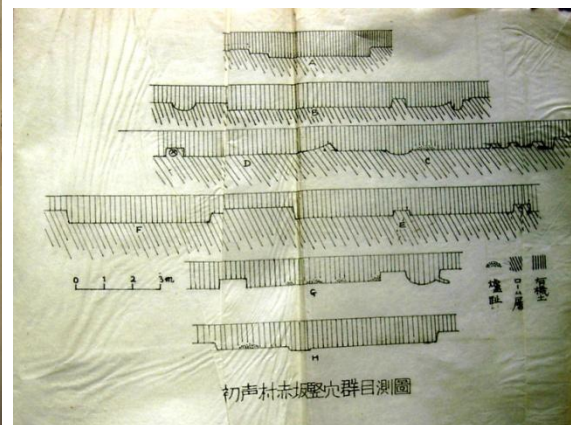
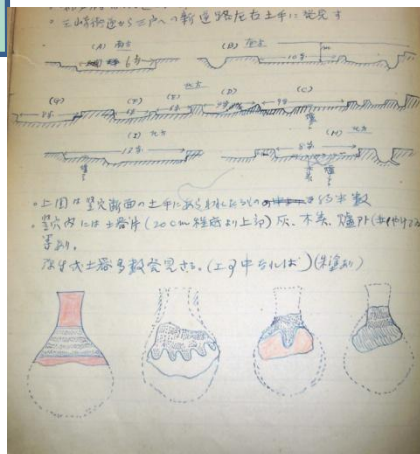
昭和4(1929)年8月31日

だれが（調査した人）

赤星直忠

## 調査概要

所在地 神奈川県三浦市初声町三戸字ハタ市道17号線（通称「御用邸道路」）  
調査面積 工事中の確認のため不明  
調査原因 御用邸道路建設工事に伴う調査  
主な遺構 住居址10数軒  
主な遺物 弥生土器片  
特記事項 国道134号線から三戸方面へ20~30mのところ御用邸道路建設により、畑が掘り切られた両断面の地下1mほどのローム層中に住居址がつくられているのを発見した。



住居址の断面を確認し、記録した赤星ノート  
(所蔵：赤星直忠博士文化財資料館)